

平成12年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成12年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成13年7月12日(木)にホテルビアントス(佐賀)において開催された。

この検討会には、試験場関係者22名、委託関係者

40名ほか、計67名の参集を得て、除草剤19薬剤(240点)について、試験成績の報告と検討が行われた。その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成12年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
1. AC-414 顆粒水和剤 (ダブ ルアップ) シクロスファミロン 66%	コライシバ	適用性 新 規	ブラッサムG-テン、 東日本G研、 宇都宮大学、 兵庫農技、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブ ルアップ 水和 0.3g<200-250>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前~発生初期 (広葉雑草3葉期まで). ・ 0.03~0.06g<200~300ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ コライシバ、ノシバの年次変動の確 認. ・ ケンタッキ-ブル-グ-ラス、ベレニアライグ-ラ スの効果、葉害の確認. ・ 実証試験での確認.
			ブラッサムG-テン、 東日本G研、 宇都宮大学、 兵庫農技、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブ ルアップ 水和 0.3g<200-250>		
	ノシバ	適用性 新 規	グリーンブライヤ、 東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブ ルアップ 水和 0.3g<200-250>		
			グリーンブライヤ、 東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブ ルアップ 水和 0.3g<200-250>		
	ケンタッキ- ブル- グ-ラス	適用性 新 規	札幌国際CC、 札幌不二ロイヤルGC、 那須ナセリ (3)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インパ-ルDF 0.04g<200-250>		
			札幌国際CC、 札幌不二ロイヤルGC、 那須ナセリ (3)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インパ-ルDF 0.04g<200-250>		
(つづく)						

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 :薬量g・ml<水量ml>/m ² :処理方法等	判 定	内 容
AC-414 顆粒水和剤 (つづき) [BASFアグロ]	ペレアル ライグラス	適用性 新 規	泉パ・クワンGC、 浜松シサイドGC、 桑名CC (3)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任		
			泉パ・クワンGC、 浜松シサイドGC、 桑名CC (3)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任		
2. DAA-982 水和剤 エトキシスルホン 10% ジチオピリル 20% [大日本イキ 化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	ブラッサムカ・デム、 埼玉公園緑地、 総武CC、 関西G研、 久山CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.1, 0.15, 0.2 g<250> ; 土壌処理 ; プロハ・ビィー水和 0.1 g<250>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.15~0.2g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 低薬量(0.1g)での効果の確 認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	ブラッサムカ・デム、 植調研究所、 南長野GC、 関西G研、 久山CC (5)			
3. DAH-981 水和剤 ジチオピリル 40% [大日本イキ 化学工業]	ケンタッキー ブル・グ ラス	適用性 継 続	札幌後楽園CC、 泉パ・クワンGC、 東日本G研 (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.05, 0.075, 0.1g<250> ; 土壌処理 ; デイクトン乳 0.1ml<250>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.1~0.2g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 [ケンタッキーブル・グラス]一年生 雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.05~0.1g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ケンタッキーブル・グラスの倍量薬害試 験、連用試験、実証試験での 確認。
	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 宇都宮大学、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			
4. FN-502 顆粒水和剤 カルフェントラザニル 40% [エフ・エム・シー、 日産化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 宇都宮大学、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期~生育初期 0.01, 0.015, 0.02g<150-200> ; 茎葉処理 ; MCP 1.0ml<200>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで)。 ・ 0.01~0.02g<100~200ml>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 年次変動の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 宇都宮大学、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
5. HOK-9801 水和剤 イキサベン テニクロール 5% 50% [トクマ、 北興化学工業]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 中国G連G研 (2)	[連用薬害] H11秋→H12春→H12秋→H13春 雑草発生前 0.4 g<200> ; 土壌処理	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.2~0.4g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	ノシバ	適用性 継 続	植調研究所、 那須ナセリ、 関西G研、 鳥取園試、 門司GC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<200> ; 土壌処理 ; オビワヅナ 0.3ml<200>		
6. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシフロロ 60% [大日本イン 化学工業]	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 埼玉公園緑地、 大阪農技セ、 西日本G研 (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 0.015, 0.02, 0.03g<250> ; 土壌処理 ; ターザイン水和 0.04g<250>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、ベントグラス、 ケンタッキーブルーグラス)広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前(3葉期まで)。 ・ 0.03~0.06g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 [(コライシバ、ノシバ)一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.015~0.03g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ベレアルライグアの雑草発生前 処理での効果、薬害の確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	植調研究所、 那須ナセリ、 鳥取園試、 門司GC (4)			
	ベレアル ライグア	適用性 新 規	泉パ・タウング、 奥武蔵CC、 浜松シサイドGC、 桑名CC、 祁谷院GC (5)	[広葉雑草、ハツリグサ科雑草] 雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; インパ・ル水和剤 0.3g<200-250>		
7. IDH-1105 顆粒水和剤 トリアジフラム 60% [出光興産]	コライシバ	適用性 継 続	美野里GC、 宮崎CC (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.04, 0.05, 0.06g<200-300> ; 土壌処理 ; イデトッパフロアブル 0.1ml<200-300>	実	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.04~0.06g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。
	ノシバ	適用性 継 続	美野里GC、 宮崎CC (2)			
	コライシバ ・ノシバ	実 証	奥武蔵CC、 東広野GC (2)	[実証試験] 雑草発生前 0.05g<250> ; 土壌処理 ; 慣行薬剤		
8. KUH-007 顆粒水和剤 カフェストロール 45% レナシル 25% [理研ゲリン、 カミイ化学工業]	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 美野里GC、 カハ・富士CC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2g<250-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 ~発生前(3葉期まで)。 ・ 0.2~0.4g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 年次変動の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
			東日本G研、 美野里GC、 カハ・富士CC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ②雑草発生前(3葉まで) 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2 g<250-300>		
	ノシバ	適用性 新 規	植調研究所、 佐野CC、 花屋敷CC、 中国G連G研、 佐賀CC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2g<250-300>		
			植調研究所、 佐野CC、 花屋敷CC、 中国G連G研、 佐賀CC (5)	[一年生雑草] ②雑草発生前(3葉まで) 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2 g<250-300>		

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
9. MAC-1 70777 剤 カミロン 45% [丸紅]	ペント グ ラス (連用)	作用性 継 続	那須ナ-セリ- (1)	[連用薬害] H11春→H11秋→H12春→H12秋 スス'メノカビ'ラ発生前 2ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任 (H11春は1mlで実施)	実 ・ 継	実) [(ペントグ'ラス、ケンタッキーブルグ'ラ ス)スス'メノカビ'ラ] ・ 芝生育期(秋)、 スス'メノカビ'ラ発生前。 ・ 1~2ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ペレニアルライグ'ラスに対する薬害の 検討。
		ケンタッキ ブル グ ラス (連用)	植調北海道、 那須ナ-セリ- (2)			
		ペレニアル ライグ'ラス (オバ- シード')	植調研究所、 久山CC (2)	[一年生イネ科雑草、 一年生カタツム'サ科雑草] ①ライグ'ラス播種前 ②ライグ'ラス播種後 雑草発生前 0.75, 1.0, 1.5, 2.0, 4.0ml <200-300> ; 土壌処理		
		適用性 新 規	泉ハ'-クワンGC、 東日本G研、 那須ナ-セリ-、 中国G連G研、 祁答院GC (5)	[一年生イネ科雑草、 一年生カタツム'サ科雑草] ライグ'ラス播種前(更新作業後、スス' メノカビ'ラ発生前) 1.0, 1.5, 2.0ml<200-300> ; 土壌処理		
		ペント グ ラス (グリーン)	実 証 泉ハ'-クワンGC、 美野里GC、 琵琶湖CC (3)	[実証試験] スス'メノカビ'ラ発生前 1.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
10. MK-243 顆粒水和剤 インダ'フアン 50% [日本農業、 三菱化学]	コウライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 宇都宮大学、 大月CC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.15, 0.2, 0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; トレビ'エ-ス水和剤	実 ・ 継	実) [(コウライシバ'、ノシバ')一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.15~0.3g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 年次変動の確認。
		ノシバ	適用性 新 規 東日本G研、 宇都宮大学、 大月CC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			
	コウライシバ ・ノシバ	実 証	吉見G場 (1)	[実証試験] 雑草発生前 0.2g<200-300> ; 土壌処理 ; トレビ'エ-ス水和剤		

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 :薬量g・ml<水量ml>/㎡ :処理方法等	判 定	内 容
11. NOJ-120 顆粒水和剤 トリフロキシメフロナトリウム 塩 75%	コウライシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研, 西日本G研 (2)	[一年生雑草] H12秋→H13春→H13秋→H14春 雑草発生初期(3葉まで) 0.006g<200-250> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生初期 ～生育期(5葉期まで). ・ 0.003～0.006g<200～300ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ 連用試験の継続. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研, 西日本G研 (2)	[一年生雑草] H12秋→H13春→H13秋→H14春 雑草発生初期(3葉まで) 0.006g<200-250> ; 茎葉処理		
	コウライシバ	適用性 継 続	グラムサガ・デーン, 東日本G研, 奥武蔵CC, 関西G研, 祁答院GC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生初期(3葉まで) 0.003, 0.0045, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; ハ・レIDF 0.005g<200-250>		
			グラムサガ・デーン, 東日本G研, 奥武蔵CC, 関西G研, 祁答院GC (5)	[一年生雑草] ②雑草生育期(5葉まで) 0.003, 0.0045, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; ハ・レIDF 0.005g<200-250>		
	ノシバ	適用性 継 続	グリーン・ライヤ、 植調研究所, 奥武蔵CC, 花屋敷GC, 佐賀CC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生初期(3葉まで) 0.003, 0.0045, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; ハ・レIDF 0.005g<200-250>		
			グリーン・ライヤ、 植調研究所, 奥武蔵CC, 花屋敷GC, 佐賀CC (5)	[一年生雑草] ②雑草生育期(5葉まで) 0.003, 0.0045, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; ハ・レIDF 0.005g<200-250>		
[シジエンタジヤハ [®]]						
12. RGH-941 フロアブル剤 (ハブ [®] -ン) アラクロール 40%	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研, 西日本G研 (2)	[連用薬害] H11春→H11秋→H12春→H12秋 雑草発生前 1ml<200-300> ; 土壌処理 (H11春はRGH-965で実施)	実	実) [(コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブル -グラス)一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.6～1.0ml<200～300ml>. ・ 土壌処理.
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研, 中国G連G研 (2)			
	ケンタッキー ブル- グラス (連用)	作用性 継 続	植調北海道, 那須ナセリー (2)			
	コウライシバ	適用性 継 続	植調研究所, 佐野GC, 大月CC, 今治CC, 佐賀CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.6, 0.8, 1.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; ランレ乳 1.2ml<300> (余裕があれば ハブ [®] -ン乳 0.8ml<300>も実施)		
			植調研究所, 佐野GC, 南長野GC, 今治CC, 佐賀CC (5)			
	ケンタッキー ブル- グラス	適用性 継 続	札幌後楽園CC, 札幌不二ロイヤルGC, グリーン・ライヤ (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.6, 0.8, 1.0 g<200-300> ; 土壌処理 ; ハナフイン顆粒水和 0.6 g<250-300>		
[理研グリーン]						

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
13. SB-5521 顆粒水和剤 ベンディメタリン 53% 〔イス・デー・イー・ス パ・イ・テック〕	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H11秋→H12春→H12秋→H13春 雑草発生前 0.6g<200-250> ; 土壌処理	実	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草(本科を除く)] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.3~0.6g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研、 西日本G研 (4)	[一年生雑草(本科を除く)] 雑草発生前 0.3, 0.45, 0.6g<200-250> ; 土壌処理 ; ウェイファーフロアール 0.5 g<200-250>		
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研、 西日本G研 (4)			
	コウライシバ ・ノシバ	実 証	美浦GC、 門司GC (2)	[実証試験] 雑草発生前 0.45g<200> ; 土壌処理		
14. SW-981 水和剤 エトキシメフロン 8% カフェンストロール 50% 〔三共〕	コウライシバ (倍量)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	[倍量薬害] 雑草発生前 0.4, 0.8, 1.6g<200-300> ; 土壌処理	実 ・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.2~0.4g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継)
	ノシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 中国G連G研 (2)			
	コウライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 東日本G研、 総武CC、 大阪農技セ、 西日本G研 (5)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; フロアール・水和 0.2g <200-300>		・ 多年生広葉雑草に対する効果 の確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	小杉CC、 植調研究所、 総武CC、 鳥取園試、 西日本G研 (5)			
15. SW-989◎ 粒剤 エンドタル2カリウム塩 3.52% (エンドタル酸として 2.50%) 〔三共〕	コウライシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[倍量薬害] 雑草発生前初期~生育期 (芝休眠期) 15, 30, 60g ; 土壌処理	実 ・ 継	実) [(ケンタッキ-ブル-グラス、フェス)ス ・ ス・メノカビ・ラ] ・ 芝生育期(秋冬)、 ・ ス・メノカビ・ラ生育期。 ・ 5~10g。 ・ 土壌処理。
	コウライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 美浦GC、 宇都宮大学、 兵庫農技、 西日本G研 (5)	[ス・メノカビ・ラ] 芝休眠期、 雑草生育初期~生育期 7, 15 g ; 土壌処理 ; エンドタル25(Na塩)粒 7 g		〔(コウライシバ)ス・メノカビ・ラ] ・ 芝休眠期、 ・ ス・メノカビ・ラ生育期。 ・ 7~15g。 ・ 土壌処理。 継) ・ ケンタッキ-ブル-グラスの倍量薬害試 験、連用試験、実証試験での 確認。

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
16. TH-913H4 70777 剤 イマゾスルホン 40% 〔武田薬品工業〕	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	泉パ・クワンGC、 東日本G研、 那須ナセリ (3)	〔一年生広葉雑草〕 雑草発生初期(3葉期まで) 0.1, 0.15, 0.2ml<200-300> ;茎葉処理 ;インパ・ル水和 0.3g<200-300>	実・ 継	実) [(コウライハ、ノシハ、ケンタッキーブルー グラス) 一年生広葉雑草] ・芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで)、 ・0.1~0.2ml<200~300ml>、 ・土壌処理。 継) ・連用試験での確認。 ・実証試験での確認。 ・多年生雑草に対する効果の確認。
17. UBH-012 70777 剤 新規化合物 8.5% 新規化合物 50% 〔宇部興産〕	コウライハ	作用性 新 規	東日本G研、 西日本G研 (2)	〔一年生雑草〕 ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4ml<200-300> ;土壌処理 ;一任	—	(作用性試験で検討)
			東日本G研、 西日本G研 (2)	〔一年生雑草〕 ②雑草発生初期(3葉期まで) 0.2, 0.3, 0.4ml<200-300> ;土壌処理 ;一任		
18. YH-592 水和剤 カフェンストロル 60% シノスルホン 5% 〔八洲化学工業〕	コウライハ ノシハ コウライハ・ノシハ	適用性 継 続 適用性 継 続 実 証	小杉CC、吉見G場、 リハ・富士CC、 桑名CC、 宮崎CC (5) 小杉CC、吉見G場、 中国G連G研、 久山CC、 祁答院GC (5) 小杉CC、 奥武蔵CC、 東広野GC、 門司GC (4)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.2, 0.25, 0.3g<200-300> ;土壌処理 ;ウエイアップ 70777 剤 0.4ml<200-300> 〔実証試験〕 雑草発生前 0.3g<200-300> ;土壌処理 ;ウエイアップ 70777 剤 0.4ml<200-300>	実	実) [(コウライハ、ノシハ) 一年生雑 草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前、 ・0.2~0.3g <200~300ml>、 ・土壌処理。

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 :薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
19. NHK-011 フロアブル剤 既知化合物 2%	コライシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[倍量薬害] 雑草生育期 0.15ml <100> 0.3 <200> 0.6 <400> : 茎葉処理	継 継) ・成分未公開. ・効果、薬害の確認.	
	ノシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所 (1)			
	ベント グラス (倍量)	作用性 新 規	植調研究所 (1)			
	ケンタッキ ブル グラス (倍量)	作用性 新 規	植調研究所 (1)			
	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研, 植調研究所, 中国G連G研 (3)	[広葉雑草(マメ科雑草は除く)] 雑草生育期 0.075, 0.1, 0.15ml<100-150> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.75ml<100-150>		
	ノシバ	適用性 新 規	東日本G研, 植調研究所, 中国G連G研 (3)			
	ベント グラス	適用性 新 規	東日本G研, 東広野GC (2)			
	ケンタッキ ブル グラス	適用性 新 規	東日本G研, 植調研究所 (2)			
[日本農薬]						

この草はなんだろう? 手軽に調べたい。

三二雑草図鑑

—— 耕地雑草ハンドブック ——

A5判 本体2,200円(税別)

耕地には主要なものだけで150種を超える雑草が生えてきます。これら雑草の防除の第一歩は草を知ることです。本書は、農耕地や樹園地などによく見られる雑草397種を写真とともに紹介した、草を知るための野帳版雑草図鑑です。

原色 図鑑 芽ばえとたね

浅野 貞夫/著

A4判 本体9,800円(税別)

芽ばえの姿はどうなんだろう。本書は、植物の芽ばえのようすを克明に表した精密図版と、種・成植物の写真による植物の一生図鑑です。成植物のみの図鑑と異なり、芽ばえのようすから紹介しているため、植生などの調査にたいへん役に立つとの声が寄せられています。

全国農村教育協会

〒110-0016 東京都台東区台東1-26-6
Tel. 03-3833-1821 Fax. 03-3833-1665